

令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区展望台基礎等長寿命化改修工事

設 計 図

令和 7年 11月

発注者：  環境省 九州地方環境事務所 沖縄奄美自然環境事務所

受注者：  株式会社 南日本技術コンサルタンツ

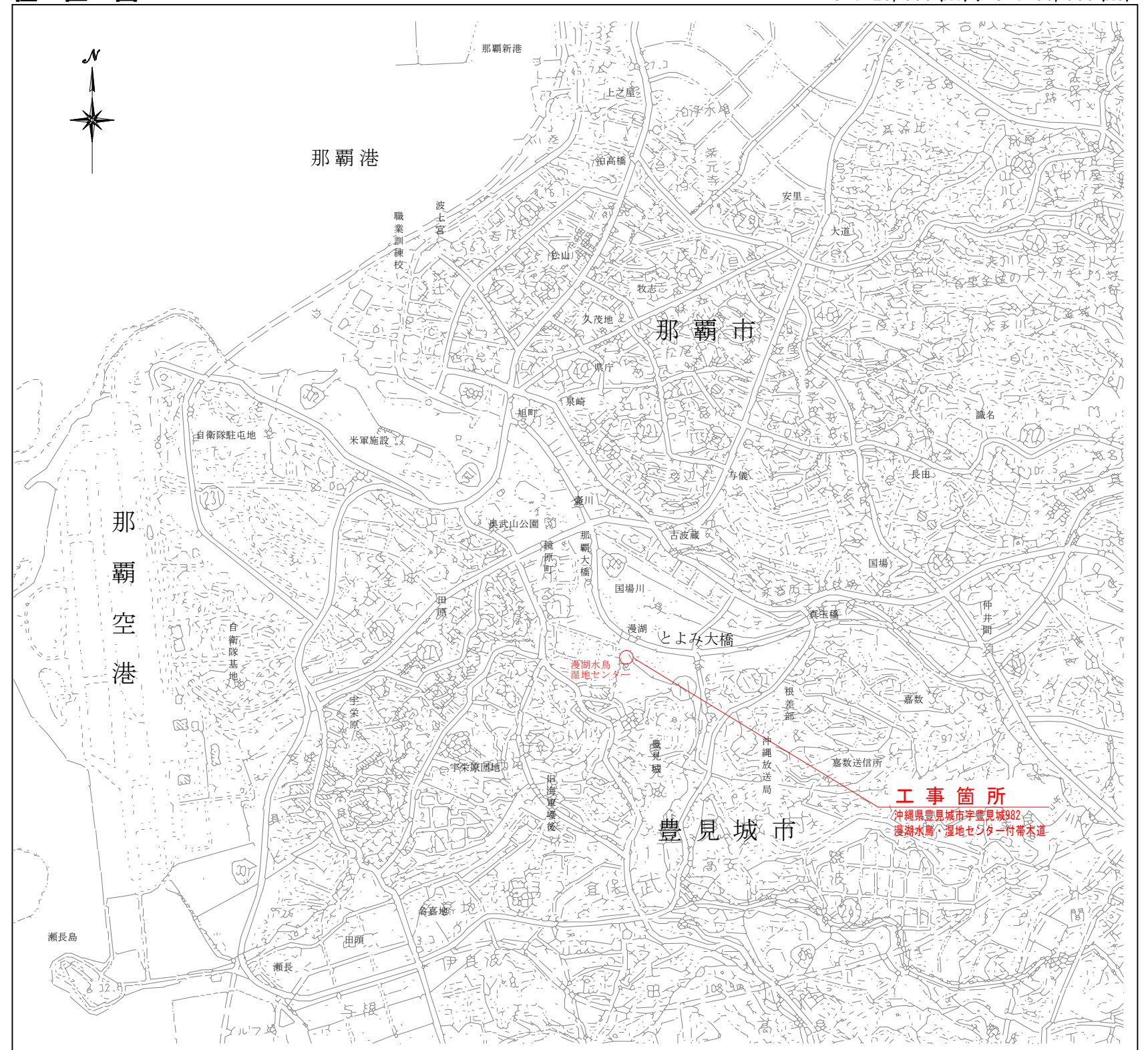
令和6年度(補正) 国指定漫湖鳥獣保護区展望台基礎等長寿命化改修工事

図面目録・位置図

図 面 目 録

[illegible]

位置図



公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿茶台改修工事		
図面名称	図面目録・位置図	図尺	S=図示
年 月 日	令和 7 年 3 月	図面番号	1 / 12
会 社 名	㈱日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖繩奄美自然環境事務所	調査	設計

令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区展望台礎等改修工事

配置図 S=1:300 (A1)、S=1:600 (A3)



---用地境界線

公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区			
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事			
図面名称	配置図	縮尺	S=図示	
年月日	令和 7年 3月	図面番号	2 / 12	
会社名	株式会社 南日本技術コンサルタンツ	照査	設計	
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄県自然環境事務所	照査	設計	

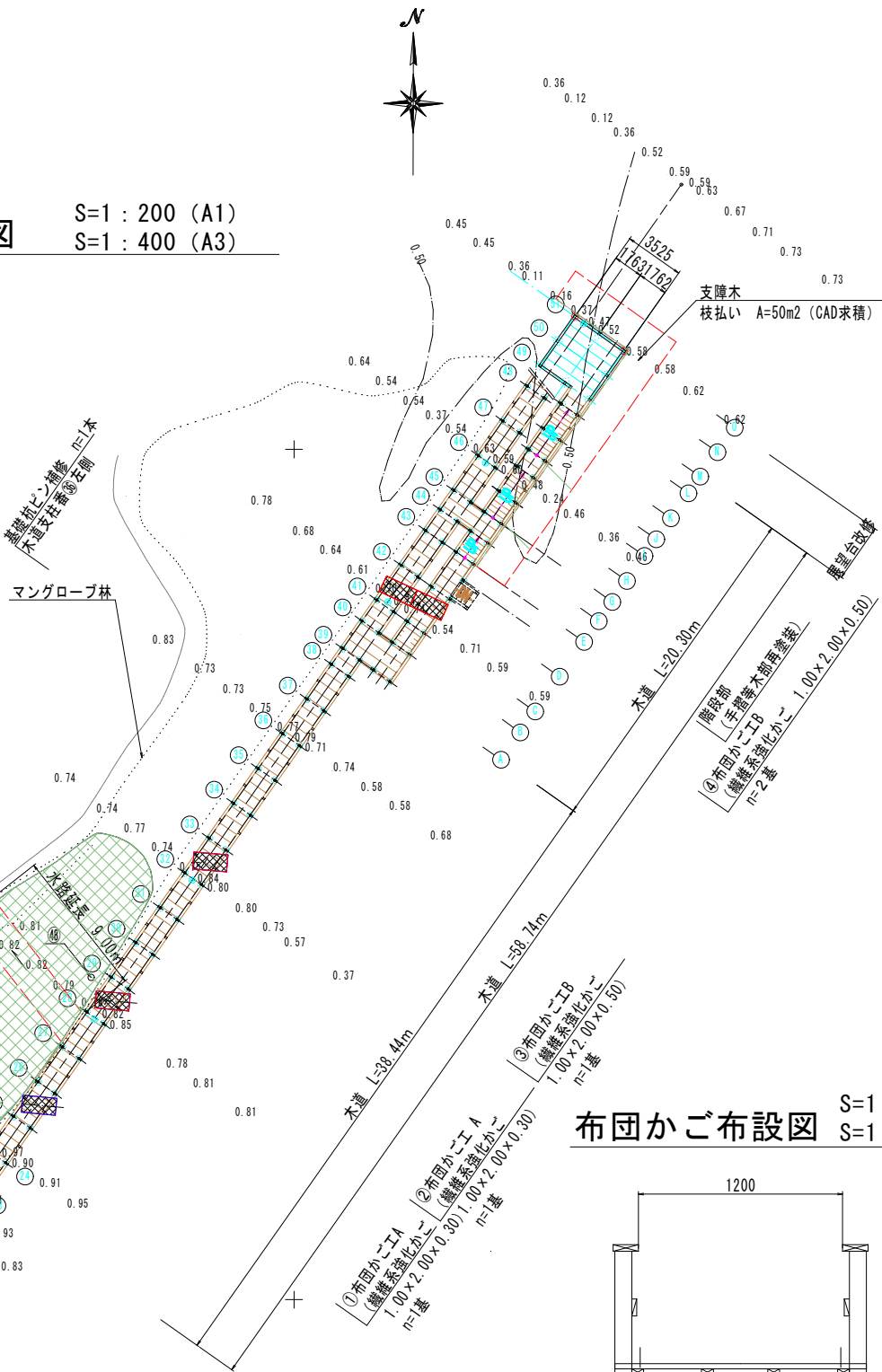
令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区展望台基礎等改修工事

数量総括表

名 称	規 格	数 量	単 位	備 考
展望台改修	基礎支柱部取り換え	1.0	式	(階段部含む)
	木部再塗装（目隠し壁及び階段手摺等）	1.0	式	
既存木道基礎洗堀防止				
	布団かご工A（繊維系強化かご 1.00×2.00×0.30）	2.0	基	
	布団かご工B（繊維系強化かご 1.00×2.00×0.50）	3.0	基	
	伐採・除根	79	本	(樹木本数44本：79本は枝を含む本数)
	幹径6cm以下	34	本	
	幹径6cm以上10cm未満	29	本	
	幹径10cm以上	16	本	
	水路工整備（W=2.0m H=0.30m）	9.0	m	

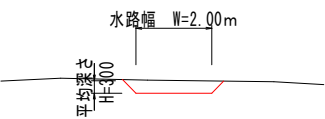
計画平面図

S=1：200（A1）
S=1：400（A3）



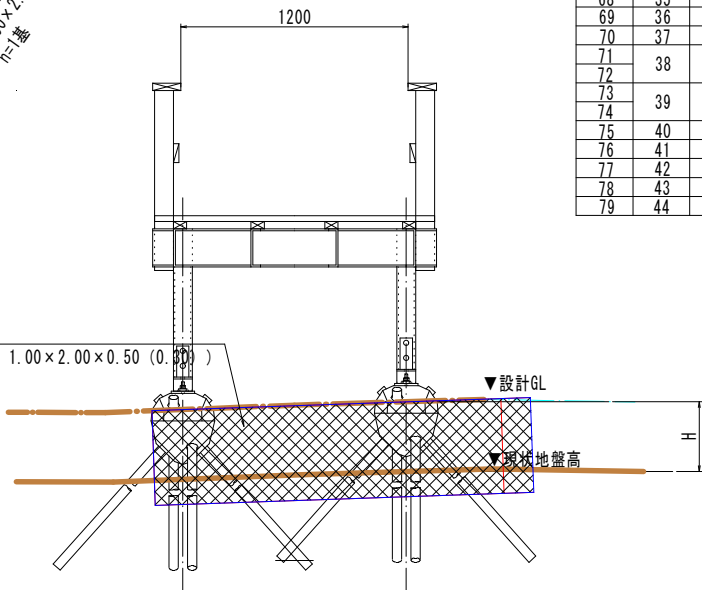
水路断面図

S=1：100（A1）
S=1：200（A3）



布団かご布設図

S=1：20（A1）
S=1：40（A3）



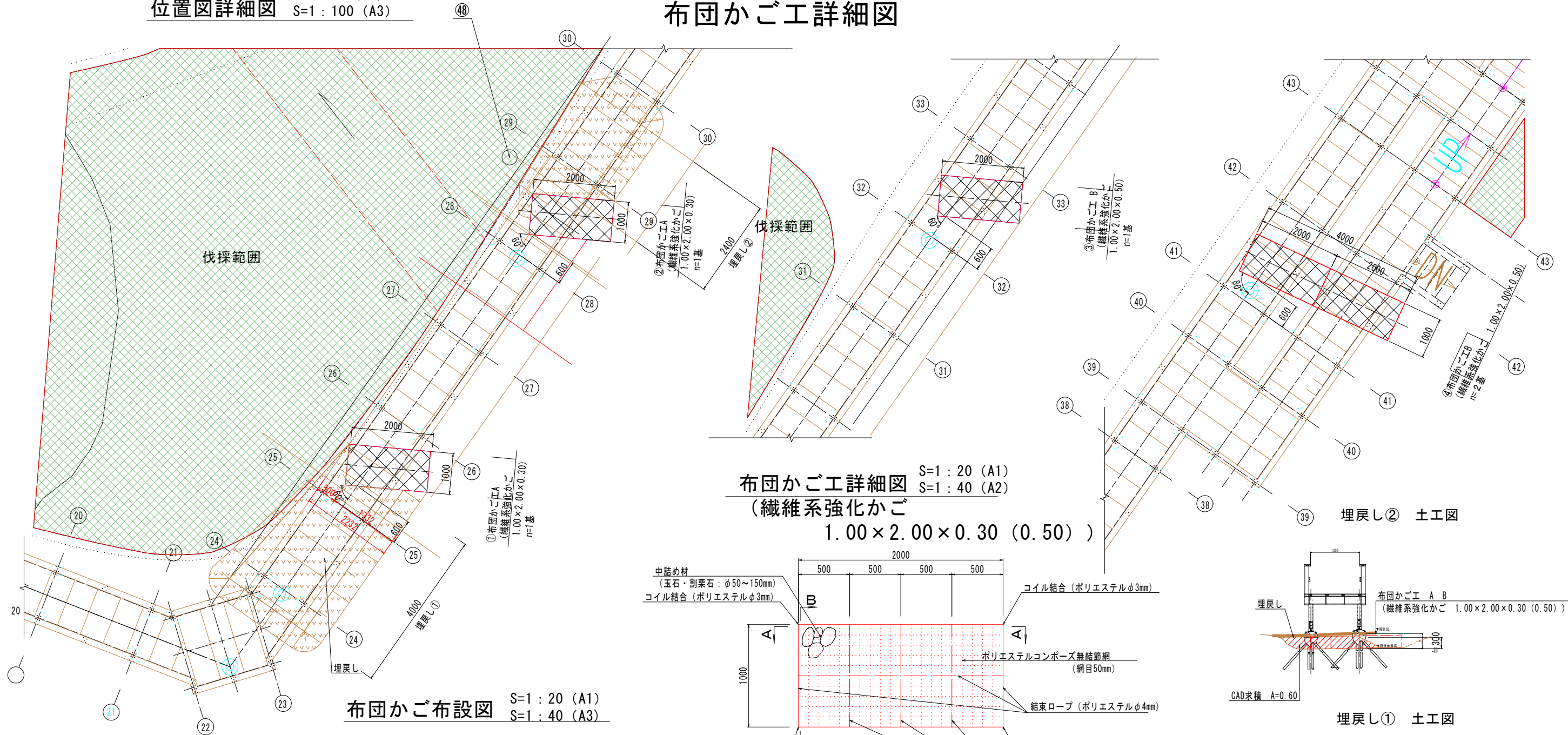
伐採樹木（枝）一覧表

番号	樹木番号	枝/株数	樹木名	胸高直径 (cm)	樹高 (m)	備 考
1	1	1/1	メヒルギ	10	3.0	
2	2	2/1	-	7	4.0	
3			-	4	4.0	
4			-	4	4.0	
5	3	4/1	-	5	4.0	
6			-	4	4.0	
7			-	4	4.0	
8	4	1/1	-	5	4.0	
9			-	4	3.0	
10	5	3/1	-	4	3.0	
11			-	4	3.0	
12			-	10	2.0	枝腐れ
13	6	4/1	-	10	4.0	
14			-	10	4.0	
15			-	10	4.0	
16	7	1/1	-	2	2.0	
17	8	1/1	-	8	2.0	
18	9	2/1	-	12	4.0	
19			-	12	4.0	
20	10	1/1	-	5	3.0	
21	11	1/1	-	6	3.0	
22	12	1/1	-	7	4.0	
23	13	1/1	-	10	2.0	枝折れ
24	14	1/1	-	7	3.0	
25	15	1/1	-	11	3.0	
26	16	1/1	-	5	3.0	
27	17	1/1	-	4	3.0	
28			-	10	2.0	
29	18	3/1	-	7	2.0	
30			-	3	2.0	
31	19	1/1	-	7	3.0	
32	20	1/1	-	7	3.0	
33	21	1/1	-	3	2.0	
34	22	1/1	メヒルギ	8	4.0	
35	23	1/1	-	6	3.0	
36			-	3	3.0	
37			-	2	2.0	枝折れ
38	24	5/1	-	3	3.0	
39			-	3	3.0	
40			-	3	3.0	
41			-	5	2.5	
42	25	3/1	-	5	2.5	
43			-	7	3.0	
44			-	3	2.5	
45			-	4	4.0	
46			-	7	4.0	
47			-	7	1.5	
48	26	10/1	-	8	4.0	枝折れ
49			-	6	3.0	枝折れ
50			-	6	1.5	枝折れ
51			-	3	3.0	
52			-	8	1.5	枝折れ
53			-	6	4.0	木道側の最後の樹木
54	27	1/1	-	8	2.0	枝折れ
55	28	1/1	-	10	4.0	
56	29	1/1	-	5	3.0	
57			-	12	4.0	
58	30	3/1	-	3	2.5	
59			-	8	1.5	
60	31	2/1	-	6	1.5	枝折れ
61			-	3	2.5	
62			-	8	1.5	
63	32	3/1	-	5	3.0	
64			-	6	4.0	
65	33	2/1	-	10	4.0	
66			-	10	4.0	
67	34	1/1	メヒルギ	14	4.0	
68	35	1/1	-	6	3.0	
69	36	1/1	-	6	2.5	枝折れ
70	37	1/1	-	5	2.5	
71			-	6	3.0	
72	38	2/1	-	8	3.0	
73			-	7	3.0	
74	39	2/1	-	7	3.0	
75	40	1/1	-	4	3.0	
76	41	1/1	-	10	4.0	
77	42	1/1	-	4	2.5	
78	43	1/1	-	4	2.5	
79	44	1/1	-	3	2.5	

公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	計画平面図	縮尺	S=図示
年 月 日	令和 7 年 3 月	図面番号	3 / 12
会 社 名	㈱南日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄電美自然環境事務所	調査	設計

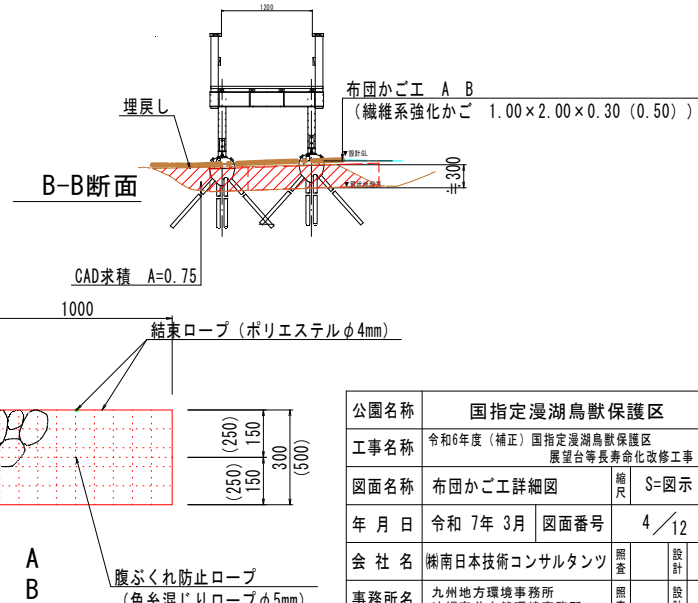
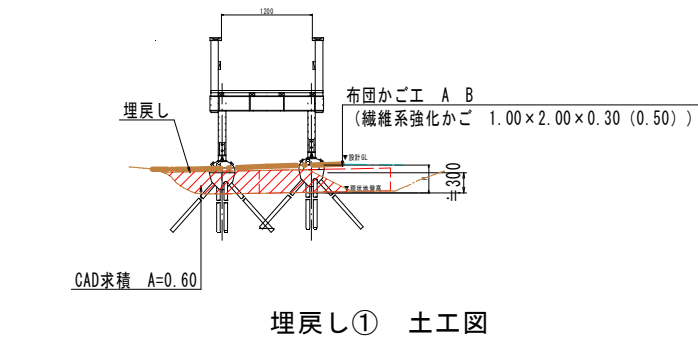
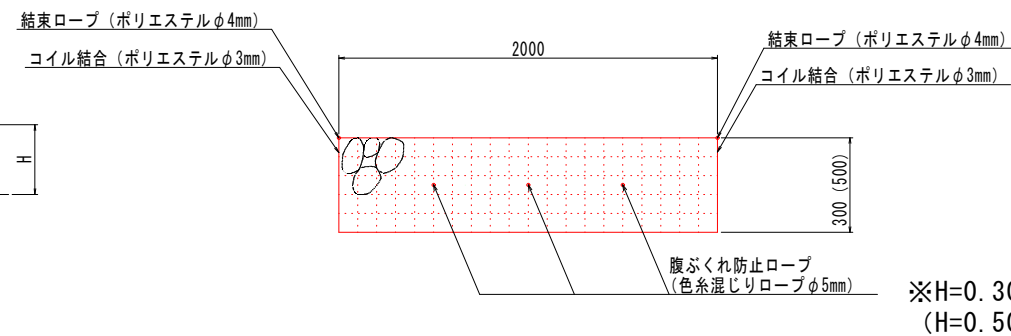
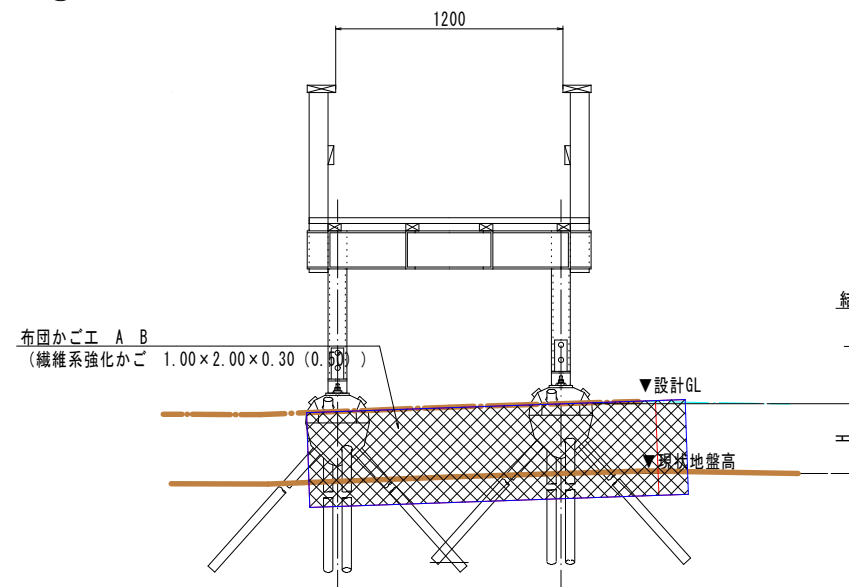
令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区展望台基礎等長寿命化改修工事
布団かご工詳細図

位置図詳細図 S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



布団かご工詳細図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A2)
(繊維系強化かご
1.00×2.00×0.30 (0.50))

布団かご布設図 S=1:20 (A1)
S=1:40 (A3)



公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	布団かご工詳細図	縮尺	S=図示
年月日	令和7年3月	図面番号	4/12
会社名	樹南日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄電美自然環境事務所	調査	設計

鉄骨構造標準図（１）

１．一般事項

（１）材料及び検査

- (a) 構造設計特記仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
但し、ベースプレートの厚さは除く
(c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する

鋼 材	種 類		使用箇所	現場溶接	備 考
	☒ SS400	☐ SSC400		☐ 有 ☒ 無	
	☒ SN400 (A・B・C)	☒ SN490 (A・B・C)		☐ 有 ☒ 無	
	☐ SM400 (A・B・C)	☐ SM490 (A・B・C)		☐ 有 ☐ 無	
	☐ STK400 (A・B・C)	☐ STK490		☐ 有 ☐ 無	
	☐ BCR295	☐ BCP235 ☐ BCP325		☐ 有 ☐ 無	
	☒ STKR400	☐ STKR490		☐ 有 ☒ 無	

ボルト・ナット

- 高力ボルト ☐ F10T ☒ F8T (☐ M12 ☒ M16 ☒ M20 ☐ M22)
中ボルト ☐ M12 ☒ M16 ☒ M20 (亜鉛メッキ処理・SUS製)
ナット ☐ M12 (ゆるみ止め付ナット SUS製) ☒ M16 (ゆるみ止めナット SUS製)

（２）工作一般

- (a) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
☐ 日本建築学会「JASS6」鉄骨精度検査基準 「鉄骨工事技術指針」
☐ 鋼材倶楽部「建築鉄骨施工指針」

- (b) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
(c) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
(d) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
(e) 工事監理者の承認を必要とするもの

- ☐ 制作工事 ☐ 制作要領書 ☐ 工作図 ☐ 施工計画書
建築基準法施工規則1条の3の第1項による認定工場 (☐ S ☐ H ☐ M ☐ R ☐ J)
☒ 材料規格証明書または成績証明書
☒ 鋼材 ☒ 高力ボルト ☒ ボルト・ナット

☐ 社内検査表

- (f) 工事監理者が行う検査項目
(☐ 印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)

- ☐ 原寸検査 ☐ 組立・開先検査 ☐ 製品検査 ☐ 立方検査

- (g) 接合部の溶接は下記によること

日本建築学会「溶接工作標準、同解説 I II III IV V VI VII VIII IX」

日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」

(h) 接合部の検査

- ☐ 接合部の検査（検査結果は後日工事監理者に報告すること）

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数		
		社 内	第三者	工事監理者
☒ 突合せ溶接部	探傷試験			
☒ 隅肉溶接部	外観（目視）検査	100 %	%	抜き取り
	マイクロ試験・その他	個	個	個
第三者検査機関名	工事監理者の承認を得ること。			

第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

備 考	溶接部試験の基準は日本建築学会「鋼構造溶接部の超音波探傷検査基準」による。 柱継手がある箇所は溶接部の上下を一本の素管を切断して作成し食い違いを回避する。 現場溶接部については原則として第三者による全数検査を行うこと。 バス間温度管理報告書（写真付）を監理者へ提出すること。 溶接部外観検査については合格欠陥であっても写真撮影を行い監理者に報告すること。

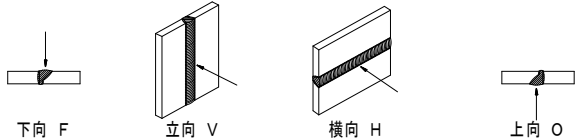
- ☒ 高力ボルトは溶融亜鉛メッキ高力ボルト「F8Tの高力ボルト」標準とする。
☐ 摩擦面はメッキ後、軽くブラスト処理を施し、表面粗度は50μm Rz以上とする。
☒ 摩擦面はメッキ後リン酸塩処理を施す。(シルミナイズZ122（リン酸亜鉛液体）塗布とする。)

(3) 溶融亜鉛メッキ工法

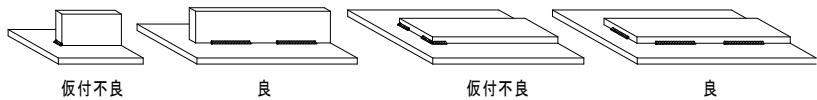
- ☐ 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版
7.12.1 7.12.2 7.12.3 7.12.4 7.12.5 7.12.6 7.12.7によるものとする。

（４）溶接接合

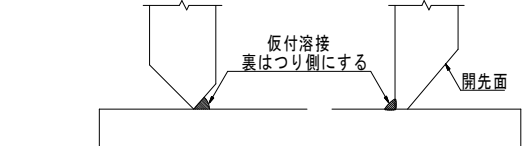
- (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
(b) 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適應するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
(c) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A～500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアーガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
(d) 溶接方法
アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアーガウジング (AAG)
(e) 溶接姿勢



- (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(g) 溶接施工

(イ) エンドタブ

- I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状の
エンドタブを取り付ける

- II エンドタブの材質は、母材と同質とする

- III エンドタブの長さは、MC:35mm以上

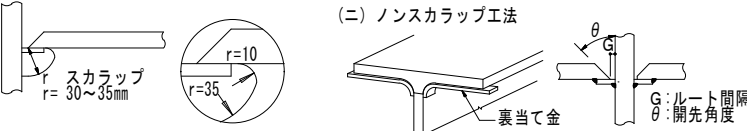
- NGC、GC:40mm以上とし特記のない場合は、
溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、
グラインダー仕上げとする

- IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者
又は工事監理者の承認を得る

(ロ) 裏当て金

- 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする
但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる

- (ハ) スクラップ半径は30～35mmと10mmのダブルールとする
但し梁成が D=150mm未満の場合のスクラップはr=20mmとする

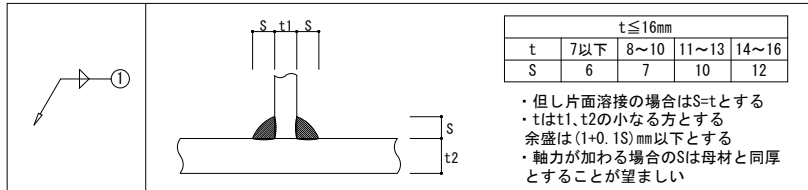


(ホ) 裏はつり

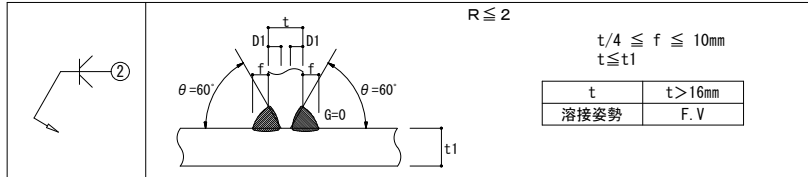
- 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認
を履行し、部材に確認マークを付ける

- (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部
をいためない様に、養生を行う

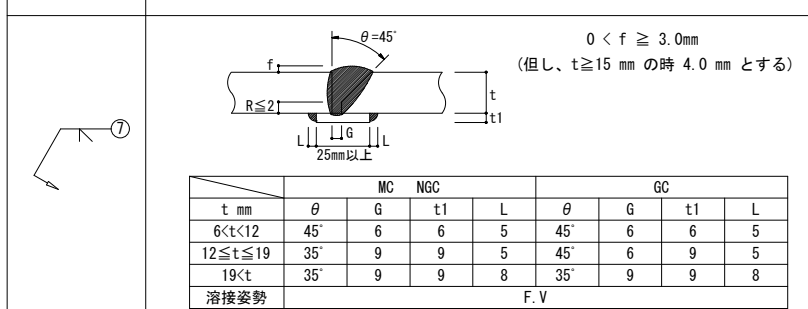
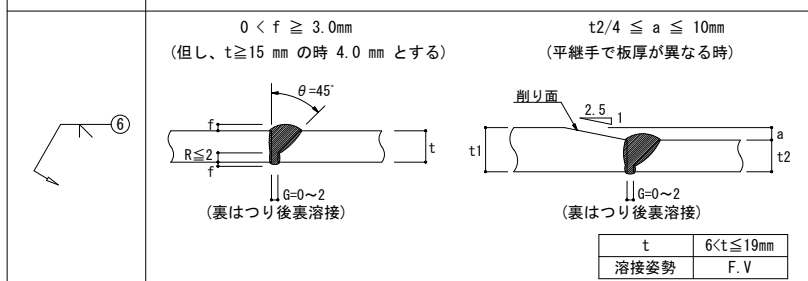
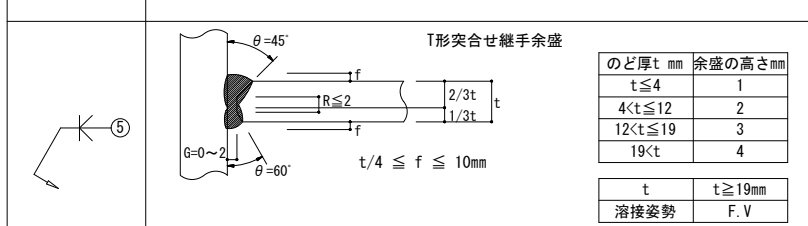
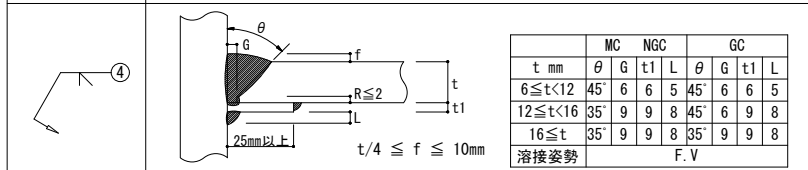
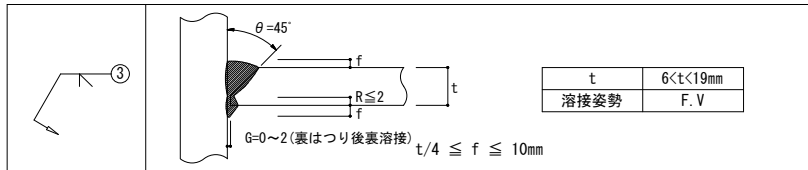
（１）隅肉溶接



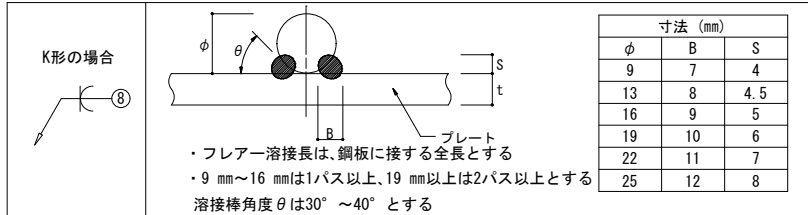
（２）部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）



（３）完全溶込み溶接（平継手 T形継手）



（４）フレアー溶接

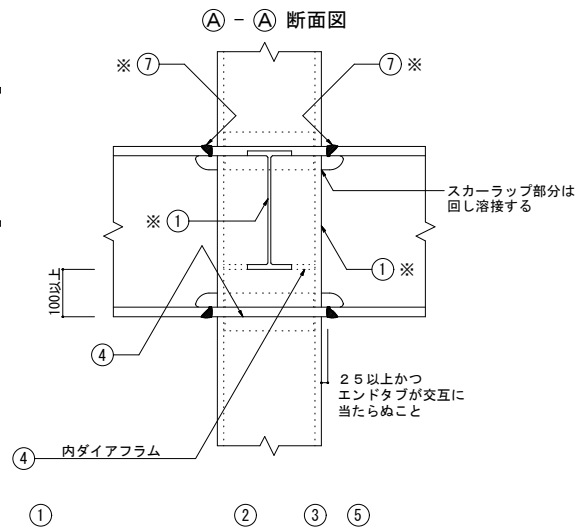
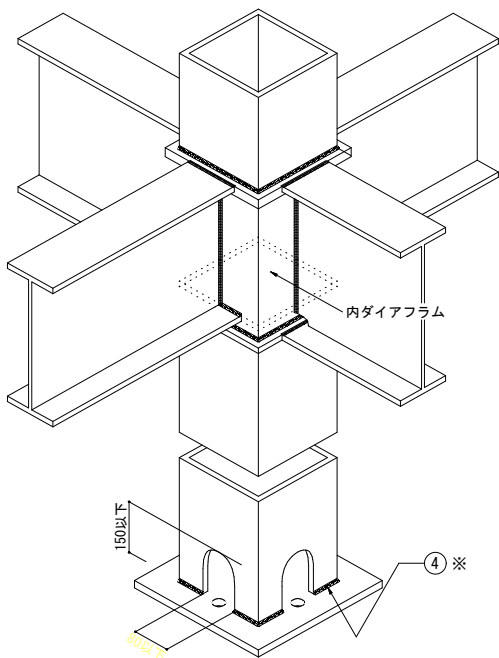


公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	鉄骨構造標準図（１）	縮尺	S=図示
年 月 日	令和 7年 3月	図面番号	5 / 12
会 社 名	湘南日本技術コンサルタンツ		設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄奄美自然環境事務所		監査

鉄骨構造標準図(2)

※ 溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



● 柱が途中で折れる場合
及 梁成が異なる場合

ダイアフラム厚は、接合する柱、梁の最大厚の2サイズアップ以上とする。

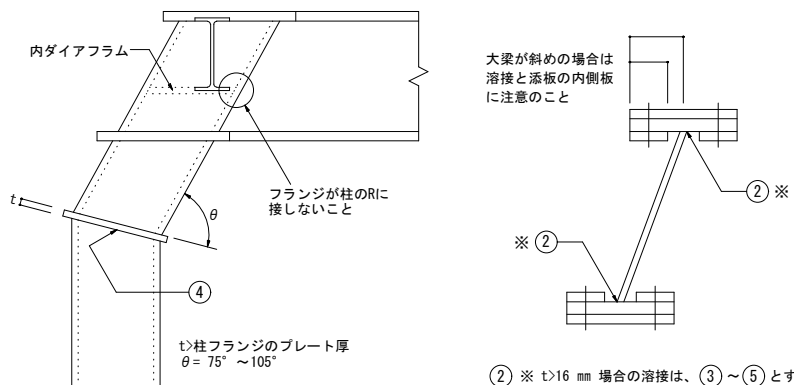
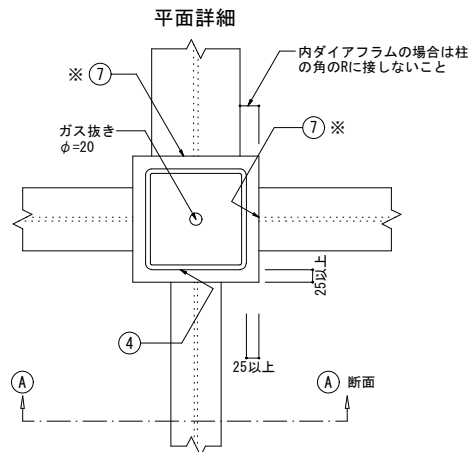
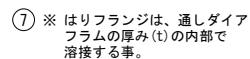
＜ 柱材料：BCR295、BCP325を使用する場合 ＞

ダイアフラムは、柱フランジ厚 16 mm未満の場合 SN490C SN490B
柱フランジ厚 16 mm以上の場合 SN490C を使用する。

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶 接 材 料	入熱 (KJ/cm)	バス間温度 (℃)
400N級鋼	JIS Z 3211、3212、3214	40 以下	350 以下
	JIS Z 3312		
	YGW-11、15 YGW-18、19		
490N級鋼	JIS Z 3315		
	JIS Z 3212、3214	40 以下	350 以下
	YGW-11、15	30 以下	250 以下
	YGW-18、19	40 以下	350 以下
	YGW-50W、50P		

注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312、のみ使用可
「構造設計特記仕様 6. 鉄骨工事 (2) 口認定又は登録工場」のグレード別に
定められた適用範囲と溶接条件制限事項による



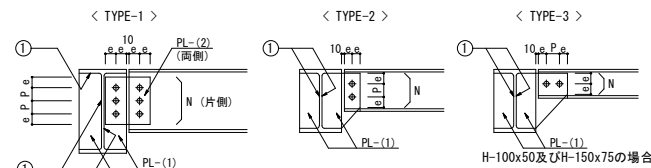
3. 継手規準図，その他

※修正箇所は下線を引くこと

(1) ボルトピッチ (P)			ボルト穴径・最小縁端距離					(mm)	
呼 び			ボルト 穴 径	最小縁端距離 (e)				ピッチ (P)	
				(1)	(2)	(3)	(2) (3) の標準	最小	標準
アン カー ボ ル ト フ ッ ク	M16	18	40	28	22	40	40	60	
	M20	22	50	34	26	40	50	60	
	M22	24	55	38	28	40	55	60	
	M24	26	60	44	27	45	60	70	
	M27	32		49	36				
	M30	35		54	40				
	M34 以上	呼び + 5		9d/5	4d/3		アンカーボルト径 (d)		

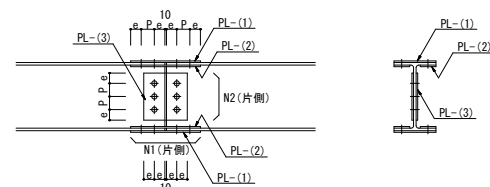
〔注〕 (1) 引張材の接合部で応力方向にボルトが3本以上並ばない場合の応力方向の緑端距離
(2) せん断縁・手動ガス切断縁の場合の緑端距離
(3) 圧延縁・自動ガス切断縁・のこ引き縁・機械仕上縁の場合の緑端距離

(2) ピン接合梁継手リスト



符号	タイプ	部 材	PL-(1)	PL-(2)	N - 径
S B 3	3	H-125・60・6・8	6		2-M16
	3	H-150・75・5・7	6		2-M16
	2	H-175・90・5・8	6		2-M16
	2	H-200・100・5.5・8	6		2-M16
S B 2	2	H-250・125・6・9	6		3-M16
	2	H-300・150・6.5・9	9		3-M20
	2	H-350・175・7・11	9		4-M20
	1	H-350・175・7・11	9	6	4-M20
	2	H-400・200・8・13	9		5-M20
	1	H-400・200・8・13	9	9	4-M20

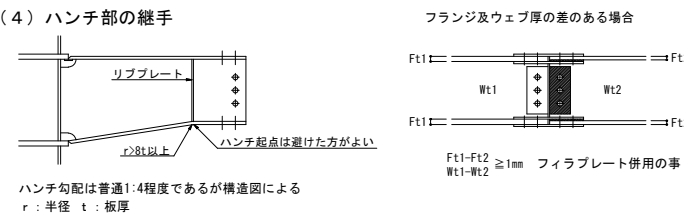
(3) 剛接合梁継手リスト (SCSS-H97による)



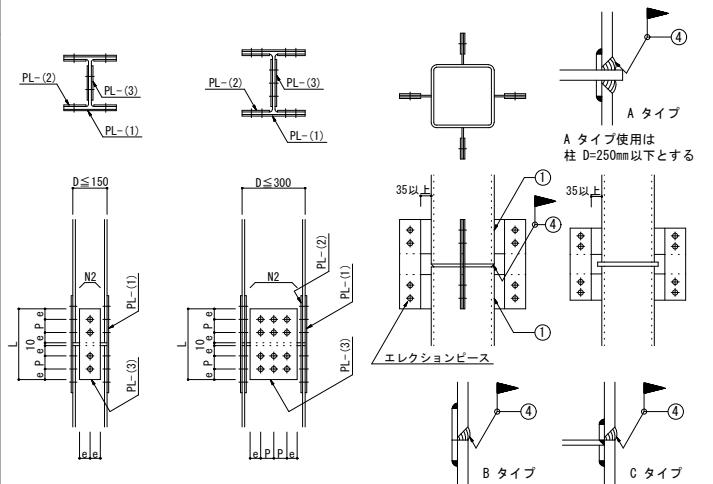
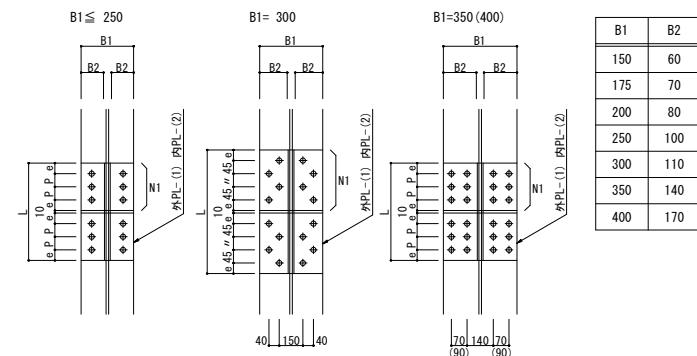
〔注〕端部をBHとする場合の部材は設計図による

符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1- 径	PL-(3)	N2- 径

(4) ハンチ部の継手



(5) 柱継手リスト (SCSS-H97による)



〔注〕現場溶接は原則として超音波探傷試験を100%行う

符 号	部 材	フランジ			ウェブ	
		PL-(1)	PL-(2)	N1- 径	PL-(3)	N2- 径

(6) 鉄筋ブレース (JIS規格品とする … JIS A 5540…1982/5541・5542…2003)

(a) 羽子板ボルト

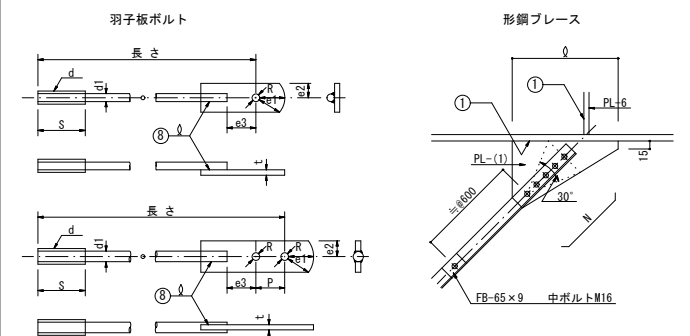
ねじの呼び (d)			M12	M14	M16	M18	M20	M22	M24
軸径 d1	最 大		10.81	12.65	14.65	16.33	18.33	20.33	21.99
	最 小		10.64	12.46	14.46	16.11	18.11	20.11	21.77
調整ねじの長さ		S	100	115	125	140	150	165	175
取付けボルト穴径 許容差 +0, -0.5 mm		R	13.0	17.0	17.0	21.5	21.5	23.5	21.5
はしあき (最小)		(2) e1	35	40	45	50	50	55	50
切板製	へりあき (最小)	(1) e2	22	28	28	34	34	38	38
	板 厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
平鋼製	へりあき (最小)	(1) e2	19.0	25.0	25.0	32.5	32.5	37.5	37.5
	板 厚	t	4.5	6	6	9	9	9	9
ボルト端から取付ボルト 穴のあき (最小)		e3	47	52	59	66	66	73	70
溶接長さ (最小)		∅	40	50	55	60	75	85	85
(2) 取付ボルト	種 類		JIS B 1186 2種高力ボルト (F10T) 又は JIS B 1180 中 8g 10.9						
	ねじの呼び		M12	M16	M16	M20	M20	M22	M20
	本 数		1	1	1	1	1	1	2

〔注〕(1) e_1, e_2 が確保されていれば形状は自由でよい

(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする

(b) 形鋼ブレース

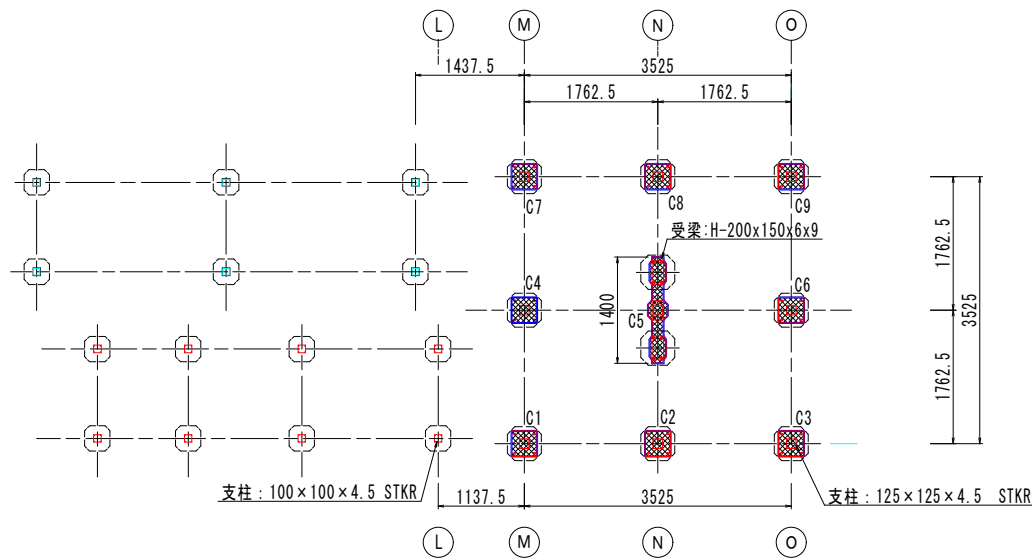
符 号	部 材	PL-(1)	N - 径	φ



公園名称	国指定漫画湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫画湖鳥獣保護区 鳳凰台等長寿命化改修工事		
図面名称	鉄骨構造標準図（2）	図尺	S=図示
年 月 日	令和 7年 3月	図面番号	6 / 12
会 社 名	湖南日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄電業自然環境事務所	調査	設計

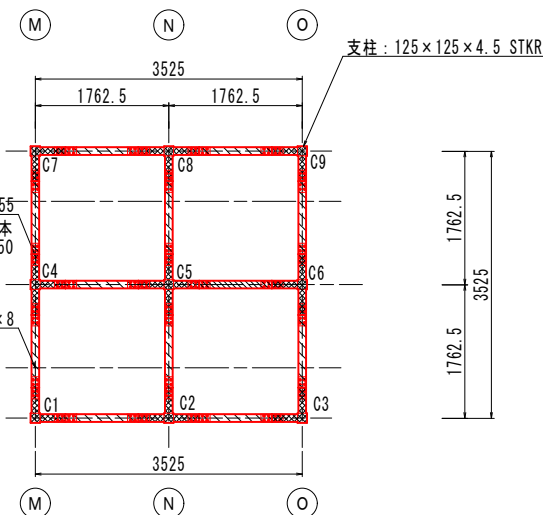
展望台・階段改修構造図（その1）

基礎伏せ図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



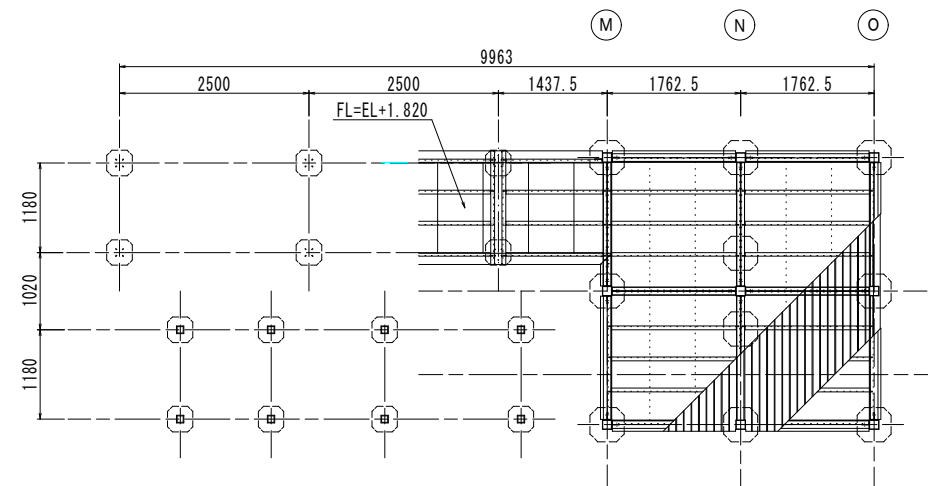
取り換え（部材）範囲
清掃・塗装改修

基礎梁伏せ図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

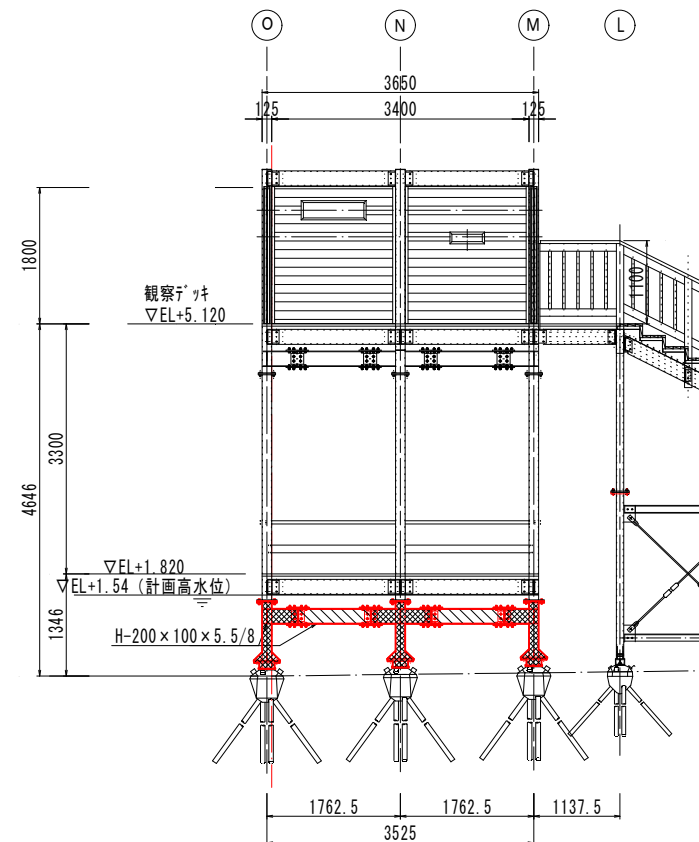


※床材の撤去、鉄骨部材の取り換えにより一時床材を撤去する場合
床材（イベ）は再利用を行う。また、敷根太については、ビス孔跡が
あるので、部材の反転並びに既設ビス孔に固定しないよう注意して床
板の再設置を行うこと。
敷根太の腐食等による、敷根太の使用が可能な場合監督員と協議を行
いその指示に従うこと。

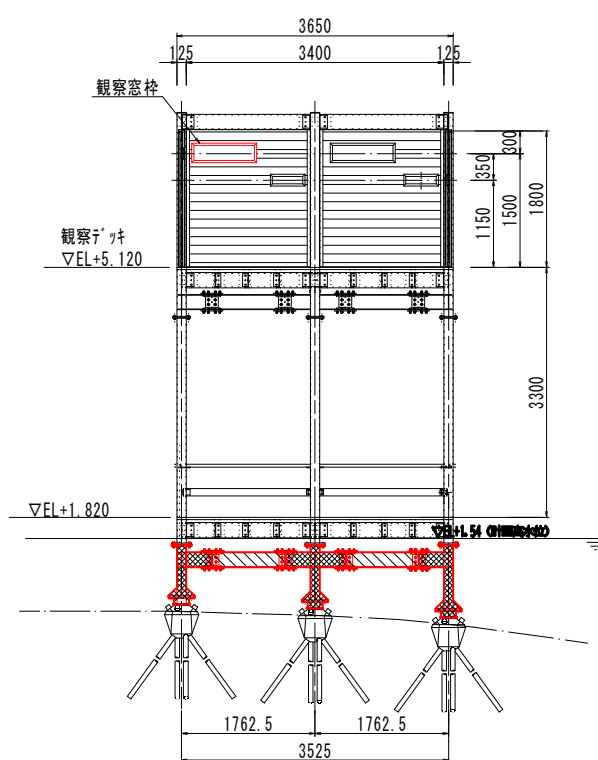
一階床伏せ図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



北側側面図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

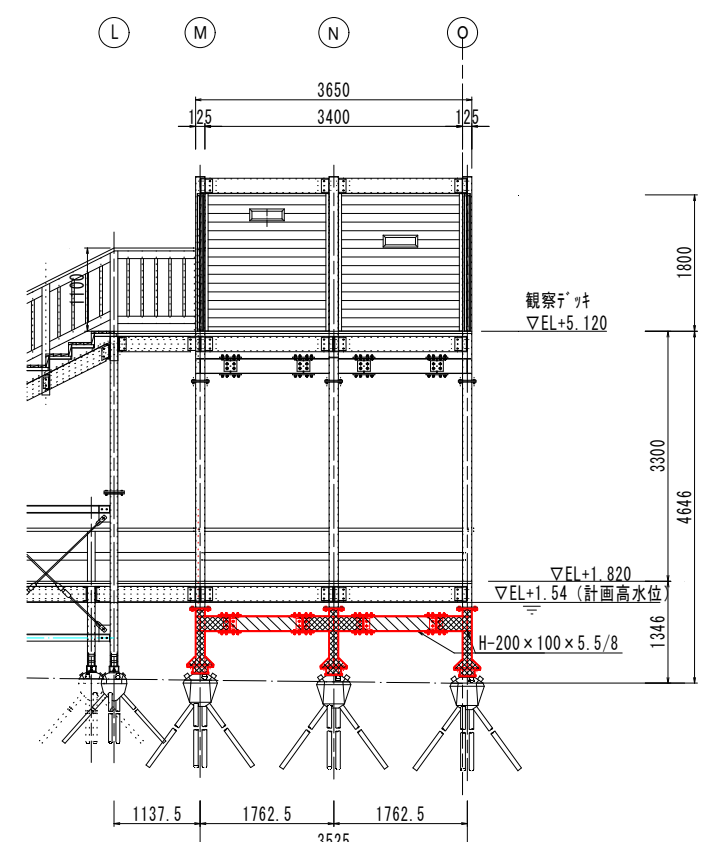


東側側面図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)

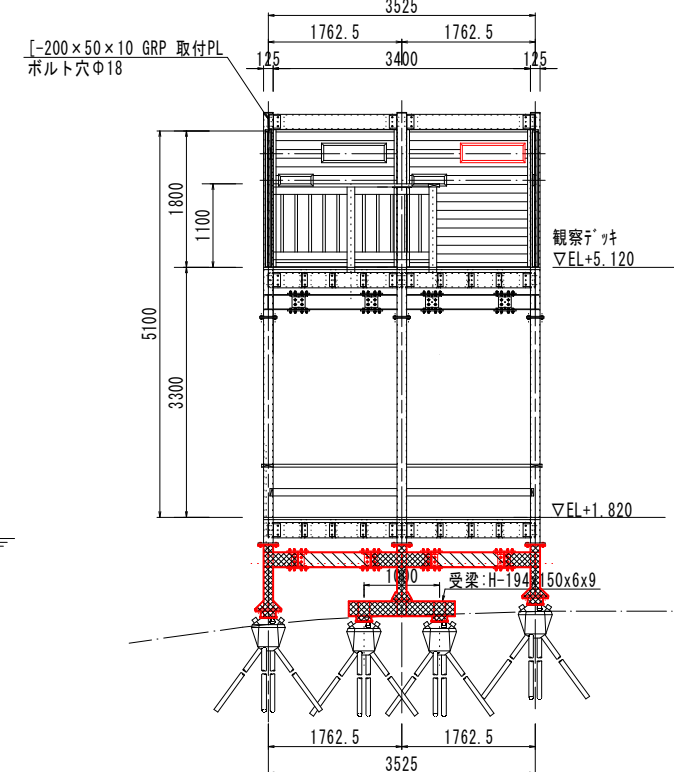


取換え部材
清掃・塗装改修

南側側面図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



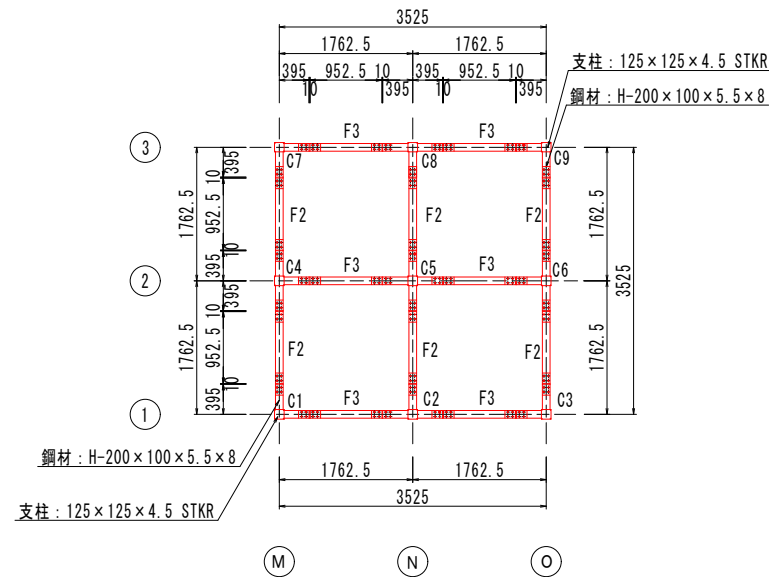
西側側面図
S=1:50 (A1)
S=1:100 (A3)



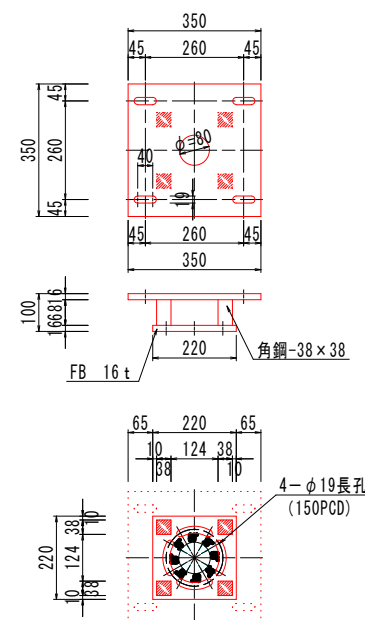
公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	展望台・階段改修構造図（その1）	縮尺	S=図示
年月日	令和7年3月	図面番号	7/12
会社名	欄南日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄電美自然環境事務所	調査	設計

展望台・階段改修構造図（その2）

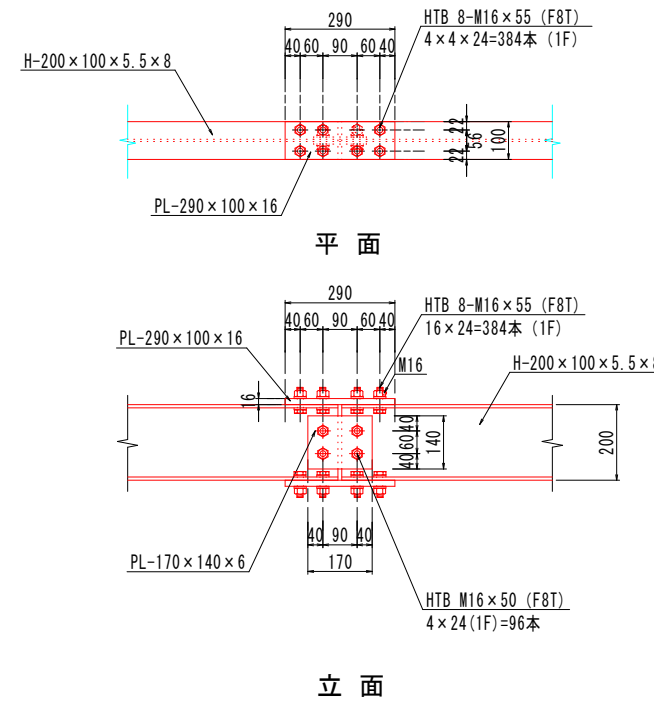
基礎梁伏図 S=1 : 50 (A1)
S=1 : 100 (A3)



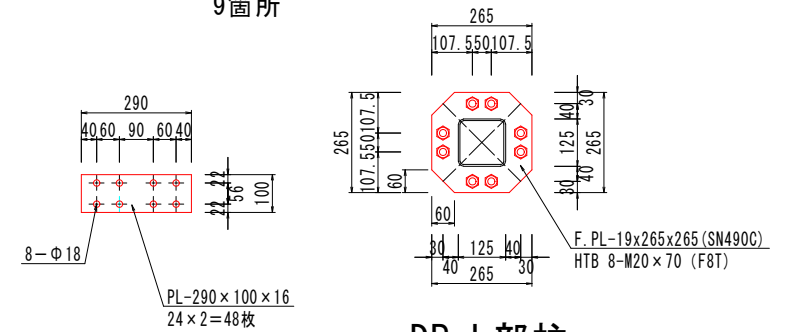
D P - L 基礎金物 S=1 : 50 (A1)
 詳細図 S=1 : 100 (A3)



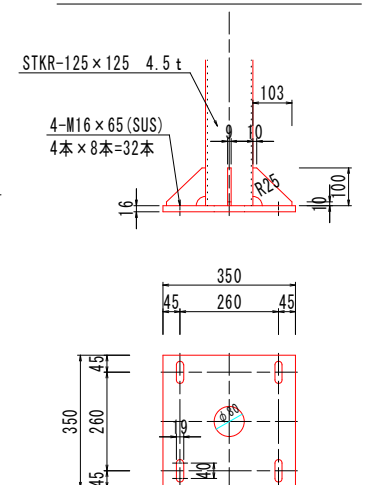
梁継手詳細図
(SS400、HTB)
24箇所



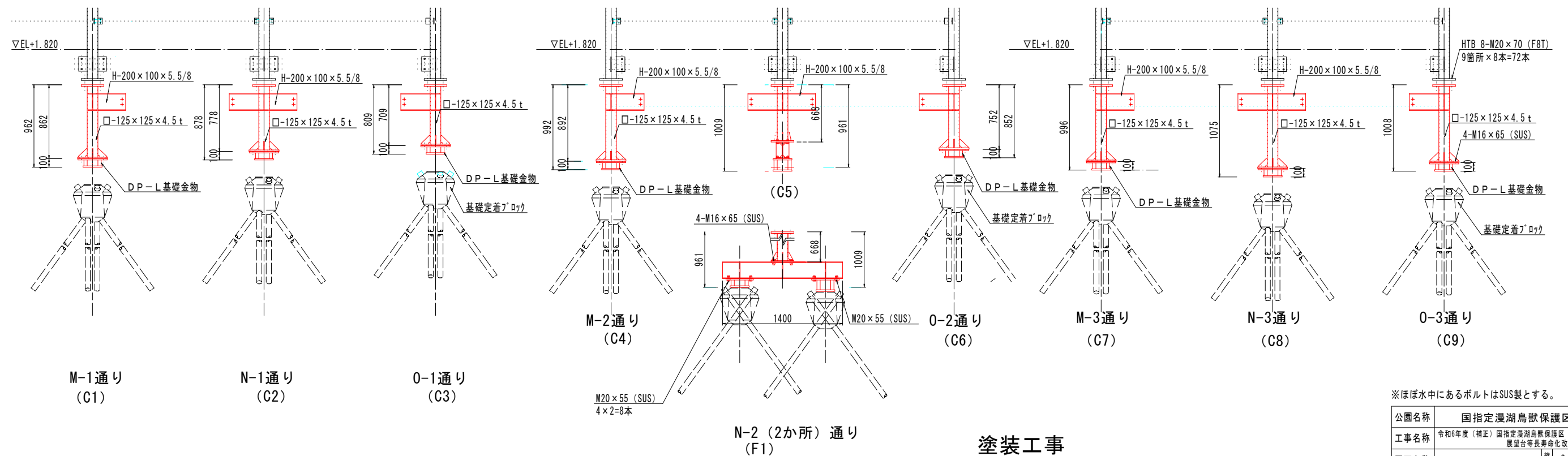
柱フランジジョイント (F. J) 部詳細図	S=1: 10 (A1) S=1: 20 (A3)
9箇所	265



DP-L部柱
ベース詳細図



基礎柱脚部取替え詳細図 $S=1:25$ (A1)
 $S=1:50$ (A3)



塗装工事

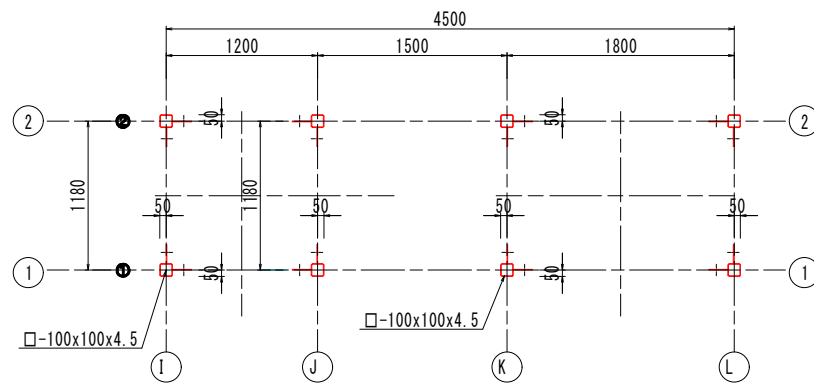
- (1) 取り換え鋼材の塗装は下記とする。
- (a) 耐候性塗料塗り (DP)
- 18.7.3 亜鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り
- ☒ ポリウレタン樹脂塗料 (VトップH同等品)
10YR2/1 3分艶 (既存塗装色)

※ほぼ水中にあるボルトはSUS製とする。

公園名称	国指定 漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等及美侖化改修工事		
図面名称	展望台・階段改修構造図（その2）	縮尺	S=図示
年 月 日	令和 7 年 3 月	図面番号	8 / 12
会 社 名	機南日本技術コンサルタンツ	照査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 油桐島自然環境管理センター 庶務	照査	設計

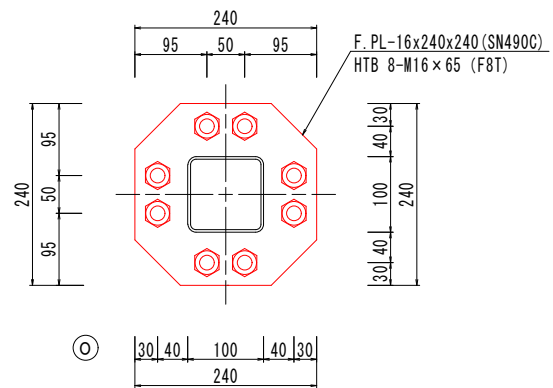
展望台・階段改修構造図（その3）

展望台階段平面図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)

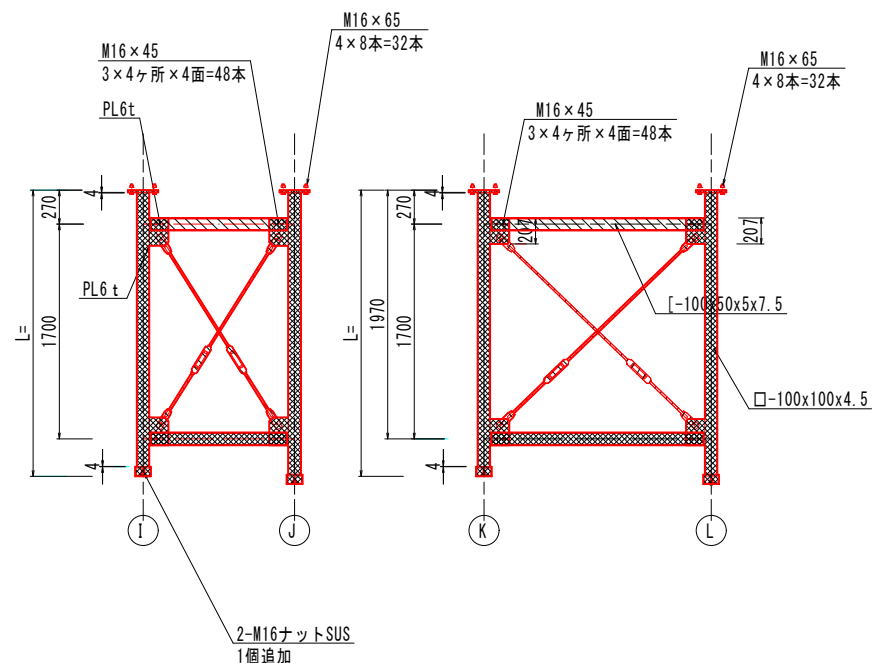


柱フランジジョイント (F. J) 部詳細図 S=1:5 (A1)
S=1:10 (A3)

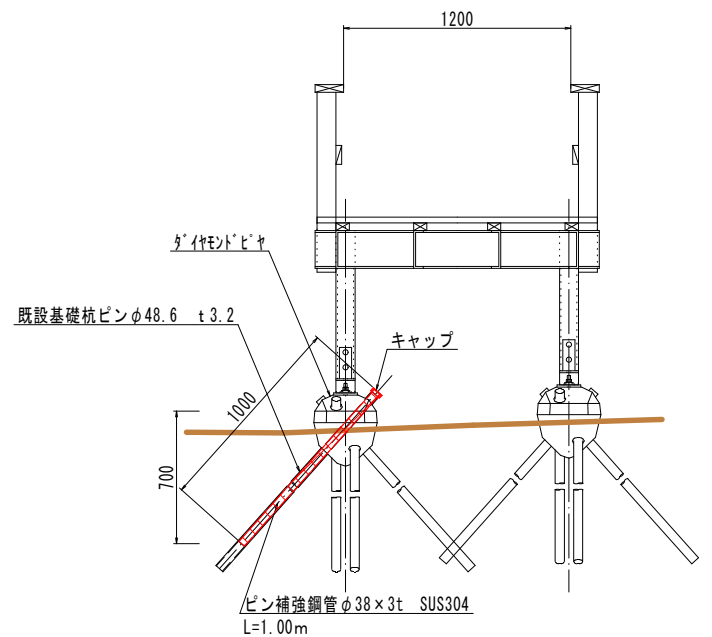
柱: 100×100×4.5 t 用8箇所



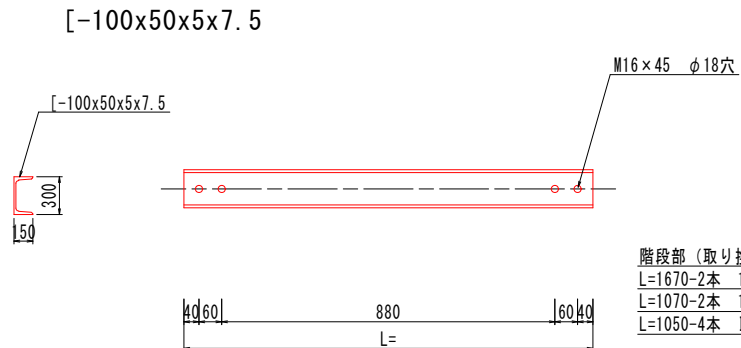
取換え支柱図 S=1 : 30 (A1)
S=1 : 60 (A3)



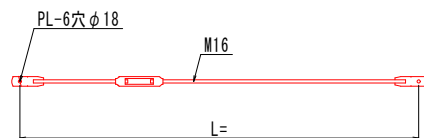
基礎杭ピン詳細図



接合桁 $S=1:30$ (A1)
 $S=1:60$ (A3)



ブレス材

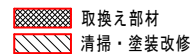


階段部 (取り換え)
L=1670-2本 1,2通り K~L
L=1070-2本 1,2通り I~J
L=1050-4本 I, J, K, L通り

階段部 (清掃・改修塗装)

L=1670-2本	1,2通り	K~L
L=1070-2本	1,2通り	I~J
L=1050-4本	I, J, K, L通り	

階段部（清掃・改修塗装）
L=2140-4本 1,2通り K~L
L=1690-12本



符号	部 材	柱高さ	種 類	数 量	備 考
C1	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	862 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C2	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	778 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C3	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	709 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C4	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	892 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C5	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	668 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C6	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	752 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C7	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	896 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C8	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	975 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
C9	□125×125×4.5 t	H-200×100×5.5/8	908 STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理

符号	部 材	長さ	種 類	数量	備 考
F1	H-200×100×5.5/8	1400	SS400	1本	
F2	H-200×100×5.5/8	952.5	SS400	6本	
F3	H-200×100×5.5/8	952.5	SS400	6本	

符号	部 材	長さ	種 類	数量	備 考
添接板	PL-290×100×16	-	SS400	48枚	溶融亜鉛メッキ処理
添接板	PL-170×140×6	-	SS400	48枚	溶融亜鉛メッキ処理

固定箇所	規 格	数 量	備 考
ゲイブルトビヤ(既設)+基礎金物固定	ナット M16 (SUS) (ゆるみ防止対策)	10個	
DP-L基礎金物+支柱固定	M16×65 (SUS) n=4×(8+1)	36本	
DP-L基礎金物+支柱固定	M16×55 (SUS) n=4×2	8本	
支柱固定(新)+支柱固定(既存)	M20×70 F8T (溶融亜鉛メッキ) n=8×9	72本	
支柱+桁つなぎ	M16×55 F8T (溶融亜鉛めっき) ウェブn=8×2×24	384本	
	M16×45 F8T (溶融亜鉛めっき) フランジ n=4×24	96本	

※ ボルト・ナット・座金（ゆるみ止め含む）

階段部取換え部材リスト表					
符号	部 材	長さ	種 類	数量	備 考
1-I	□-100×100×4.5	2550	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
1-J	□-100×100×4.5	2571	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
1-K	□-100×100×4.5	2548	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
1-L	□-100×100×4.5	2574	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
2-I	□-100×100×4.5	2467	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
2-J	□-100×100×4.5	2565	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
2-K	□-100×100×4.5	2519	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
2-L	□-100×100×4.5	2551	STKR400	1本	溶融亜鉛メッキ処理
接合桁					
	[-100x50x5x7.5	1670	SS400	4本	溶融亜鉛メッキ処理 (内2本清掃・改修塗装)
	[-100x50x5x7.5	1070	SS400	8本	溶融亜鉛メッキ処理 (内4本清掃・改修塗装)
	[-100x50x5x7.5	1050	SS400	4本	溶融亜鉛メッキ処理 (内2本清掃・改修塗装)
ブレス材 (清掃・改修塗装)					
	φ 16	2140	SS400	4本	溶融亜鉛メッキ処理
	φ 16	1690	SS400	12本	溶融亜鉛メッキ処理

固定箇所	規 格	数 量	備 考
ダイヤモンドピア（既設）+基礎金物固定	ナット M16（SUS）（ゆるみ防止対策）	8個	
支柱固定（新）+支柱固定（既存）	M16×65 （溶融亜鉛めっき） 4×8×2	64本	
支柱固定（新）+桁	M16×45 （溶融亜鉛めっき） 3×16×2	96本	

※ ボルト・ナット・座金（ゆるみ止め対策）

塗装工事

(1) 取り換え鋼材の塗装は下記とする。

(a) 耐候性塗料塗り (DP)

18.7.3垂鉛めっき鋼面耐候性塗料塗り ☒ポリウレタン樹脂塗料（VトップH同等品）

(2) 清掃・改修塗装鋼材は下記とする。

7.8.3 亜鉛メッキ鋼面の2液型ポリウレタンエナメル塗 (2-UE)

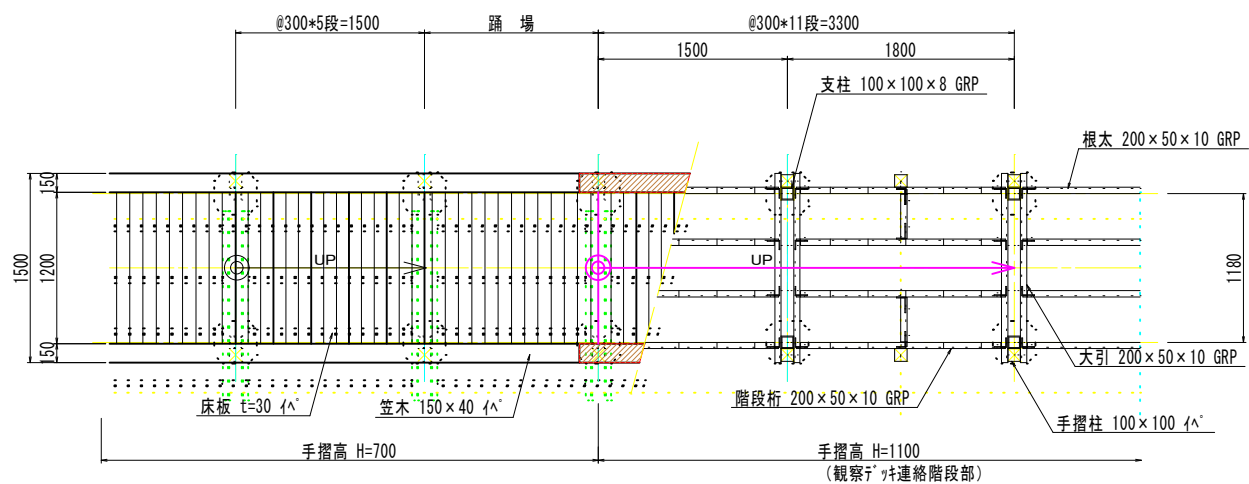
種別 B種 ☒ ポリウレタン樹脂塗料（Vトップ同等品）

(3) 既存色に合わせること。

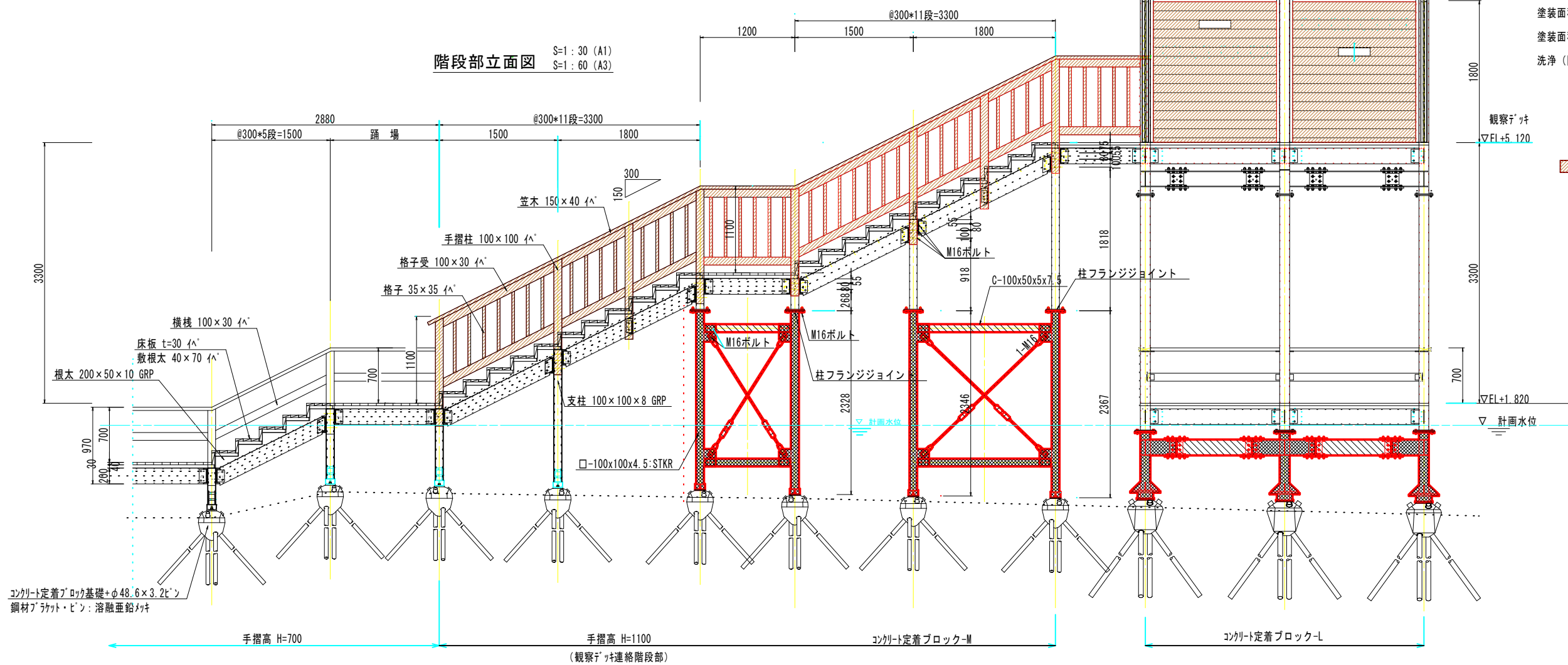
公園名称	国指定漫画鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度(補正)国指定漫画鳥獣保護区 展望台等寿命延長改修工事		
図面名称	展覧台・階段改修構造物(その3)	図尺	S-図示
年 月 日	令和 7年 3月	図面番号	9/12
会 社 名	湘南日本技術コンサルタンツ	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄県美玉自然環境事務所	調査	設計

展望台・階段改修構造図（その4）

平面・根太伏図
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



階段部立面図
S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



塗装工事

- (1) 洗浄清掃：床板、階段（ササラ桁）
(2) 木部の再塗装は下記とする。
木材保護塗料塗り（WP）

既存塗膜の除去及び汚れ付着物除去	参考塗付量
露出素地面研磨	
下塗り JASS 18 M-307（木材保護塗料）	0.10kg/m ²
上塗り	
（1回目）JASS 18 M-307（木材保護塗料）	0.06kg/m ²
上塗り	
（2回目）ネオデラックス6060同等品	0.06kg/m ²

木材保護塗料：キシラデコール フォレステージ同等品
木材保護塗料：ネオデラックス6060同等品

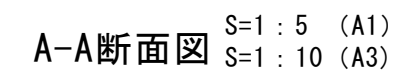
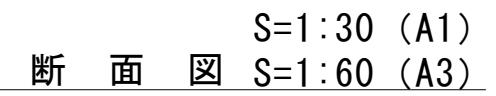
塗装面積（観察壁）	A=34.02m ²
塗装面積（階段部）	A=31.69m ²
洗浄（階段部・展望台床）	A=35.11m ²

木部塗装範囲

取換え範囲

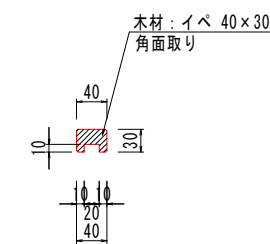
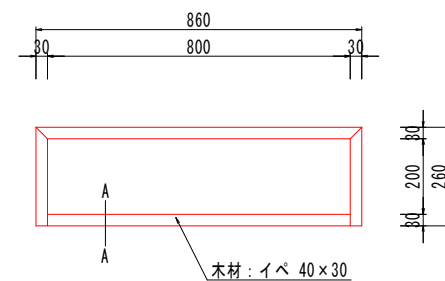
公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	展望台・階段改修構造図（その4）	縮尺	S=図示
年月日	令和7年3月	図面番号	10/12
会社名	株式会社 湘南日本技術コンサルタンツ	用章	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄電美自然環境事務所	用章	設計

目隠し壁展開図 S=1:30 (A1)
S=1:60 (A3)



- (1) 洗浄清掃：床板、階段（ササrah 桁）
- (2) 木部の再塗装は下記とする。
木材保護塗料塗り（WP）

参考塗分量	
☑ 既存塗膜の除去及び汚れ付着物除去 露出素地面研磨。	
☑ 下塗り JASS 18 M-307 (木材保護塗料)	0.10kg/m ²
☑ 上塗り (1回目) JASS 18 M-307 (木材保護塗料)	0.06kg/m ²
☑ 上塗り (2回目) ネオデラックス6060同等品	0.06kg/m ²
木材保護塗料：キシラデコール フォレステージ同等品	
木材保護塗料：ネオデラックス6060同等品	


$$(1.763-0.125) \times 1.80 \times 6 \times 2 = 35.38$$

塗裝面積（觀察壁）

觀察窓控除 $\Delta 0.1 \times 0.40 \times 5 \times 2 = \Delta 0.400$

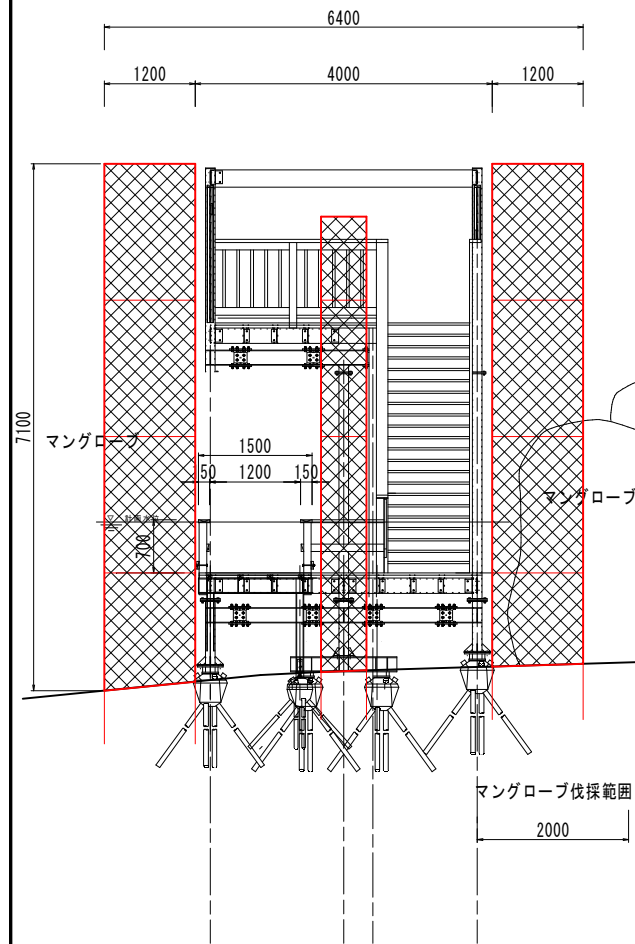
觀察窓控除 $\Delta 0.2 \times 0.80 \times 3 \times 2 = \Delta 0.960$

計	34.02
---	-------

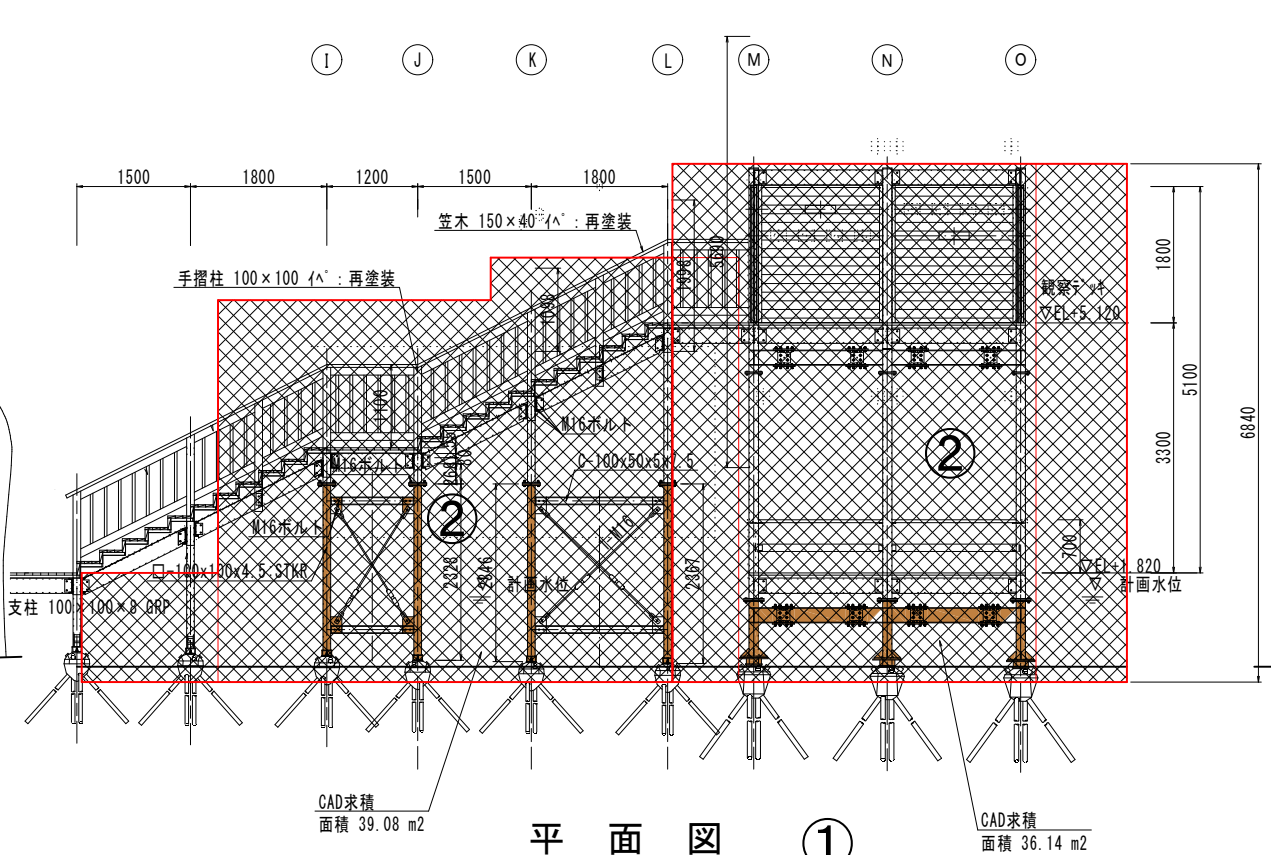
公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿島改修工事		
図面名称	展望台・階段改修構想図（その5）	縮尺	S=図示
年 月 日	令和 7 年 3 月	図面番号	11 / 12
会 社 名	株式会社 日本技術コンサルタンツ	照査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄審判自然環境事務所	照査	設計

足場工（参考図） S=1：50（A1）
S=1：100（A3）

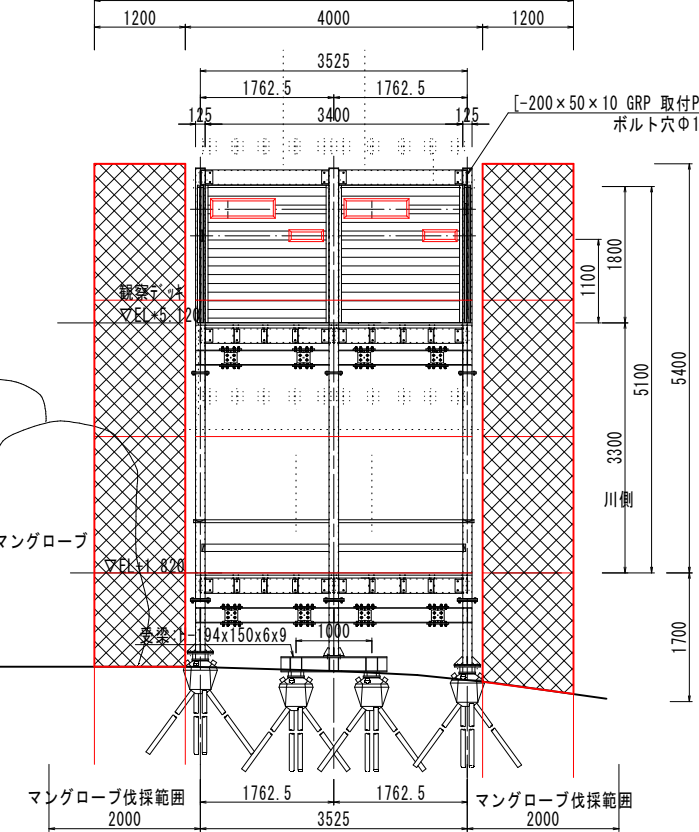
東側立面図



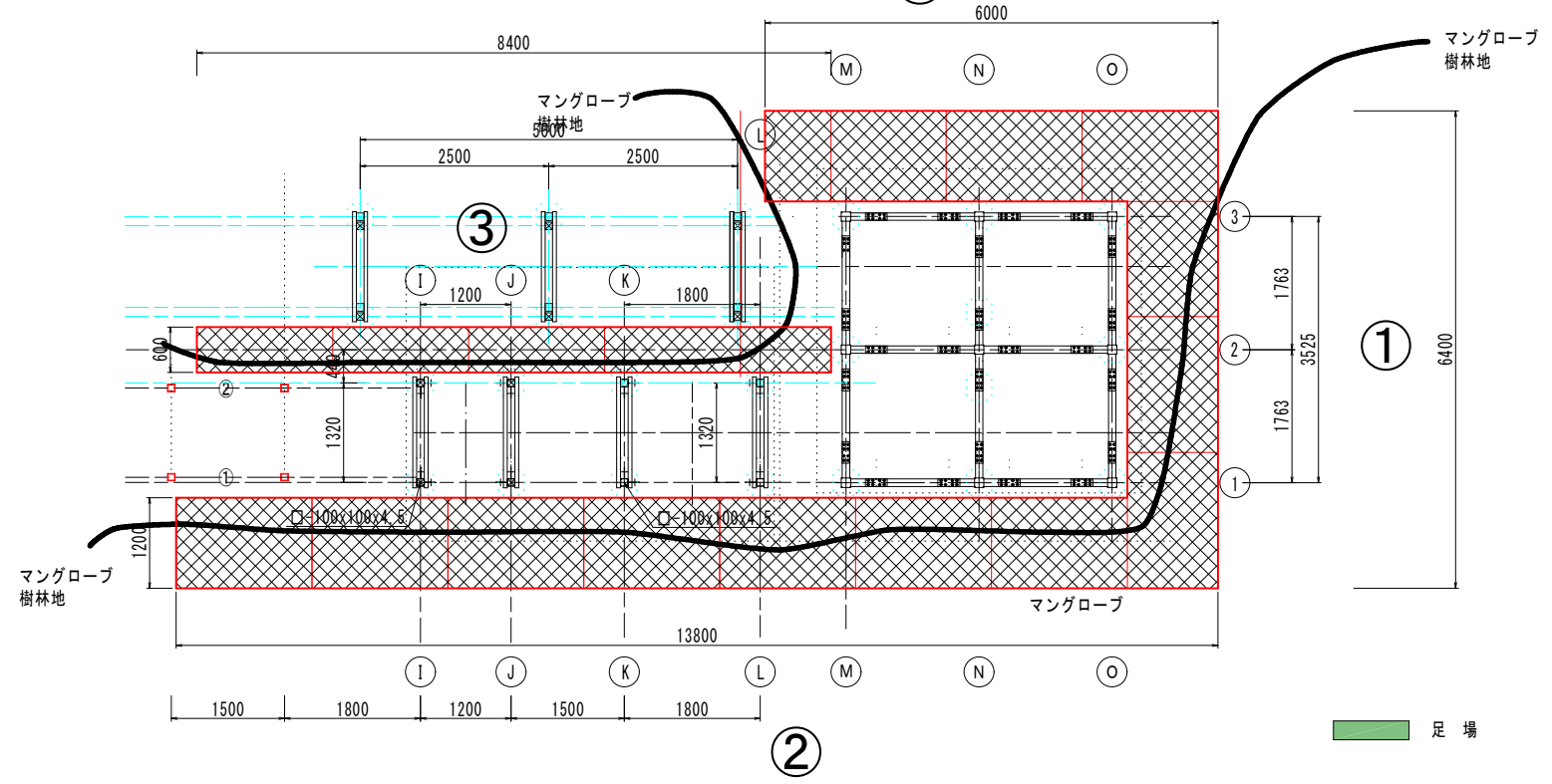
南側立面図



西側側面図



平面図 ①



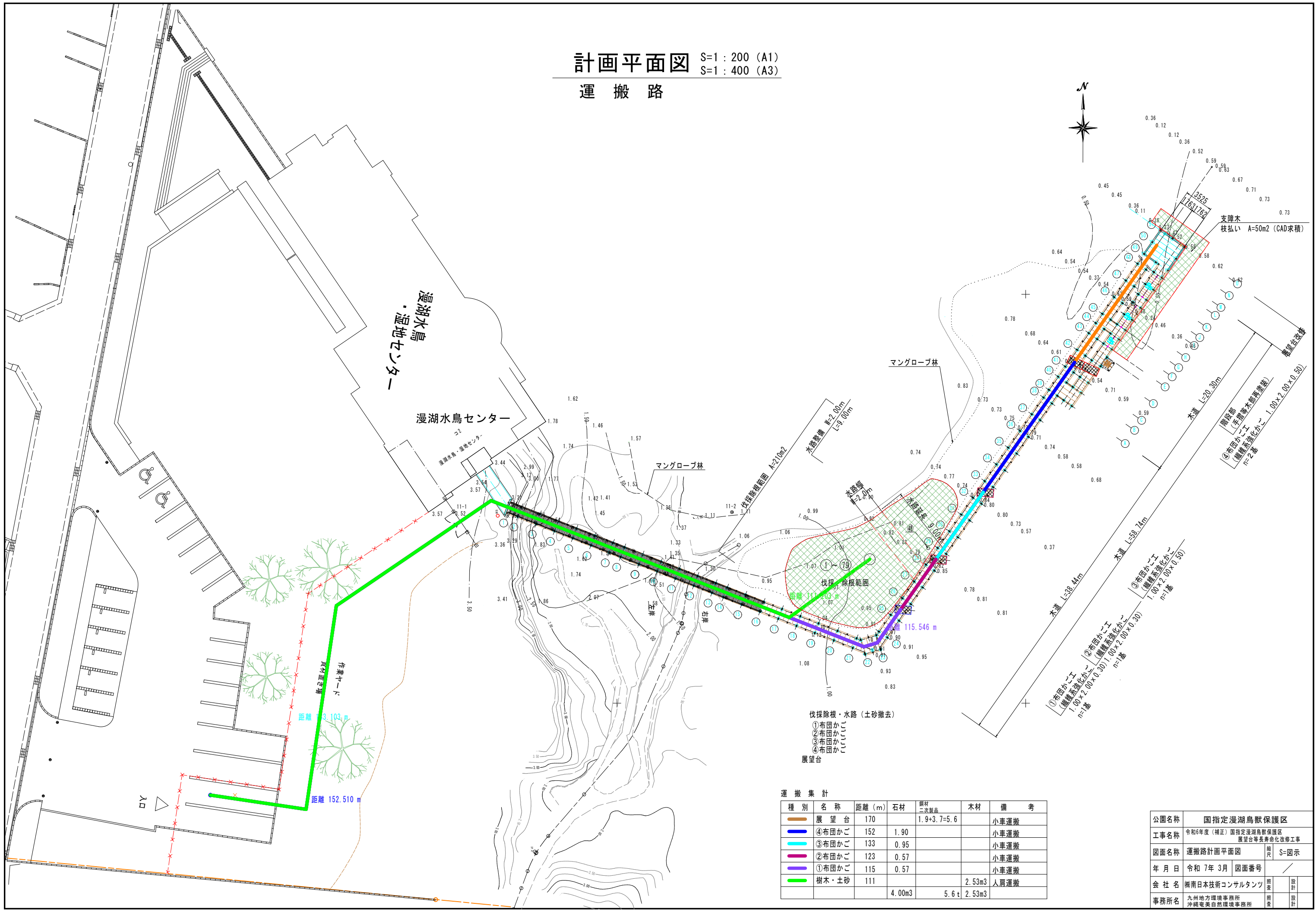
足場面積 A=

- ① (6.00+6.40) × 6.84=84.8㎡
- ② 36.14+39.08=75.2㎡
- ③ 39.08=39.08㎡

合計 199.1㎡

公園名称	国指定漫湖鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	足場工（参考図）	縮尺	S=図示
年月日	令和7年3月	図面番号	12/12
会社名	楠南日本技術コンサルティング	調査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄奄美自然環境事務所	調査	設計

計画平面図 S=1 : 200 (A1)
S=1 : 400 (A3)
運 搬 路



伐採除根・水路（土砂撤去）
①布団か
②布団か
③布団か
④布団か
展望台

運 搬 集 計						
種 別	名 称	距離 (m)	石材	鋼材 二次製品	木材	備 考
	展 望 台	170		1.9+3.7=5.6		小車運搬
	④布団かご	152	1.90			小車運搬
	③布団かご	133	0.95			小車運搬
	②布団かご	123	0.57			小車運搬
	①布団かご	115	0.57			小車運搬
	樹木・土砂	111			2.53m3	人肩運搬
			4.00m3	5.6 t	2.53m3	

公園名称	国指定漫湖水鳥獣保護区		
工事名称	令和6年度（補正）国指定漫湖水鳥獣保護区 展望台等長寿命化改修工事		
図面名称	運搬路計画平面図	縮尺	S=図示
年 月 日	令和 7年 3月	図面番号	—
会 社 名	欄南日本技術コンサルタンツ	照査	設計
事務所名	九州地方環境事務所 沖縄奄美自然環境事務所	照査	設計